

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・保育所等訪問支援Love&Smile		令和 8 年 1 月 23 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	限りあるスペースを有効に使い療育しています トイレ、洗面の数がもう一つあると子どもたちを待たせることがなくスムーズにいくと思います。	トイレと洗面はもう一つあると助かると思いますが、改装は難しいのでこのまま工夫しながら使用していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	希望は一人に一人職員が付くことが望ましいかと思いますがとても難しく思います。そのため職員1人に対しお子さん2人という体制の時もありますが無理のない範囲で個別支援をしています	お子さまの思いを受け取りやすい職員配置を心がけています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	常に職員が気づき改善しています 玄関がバリアフリーではないです 視覚的支援を行い絵カードや写真などの掲示を行っています	お子さんが動きやすいように動線を整えています 1日をスムーズにすごせるように絵カードやスケジュールを掲示しています 玄関は段差があるので今後考えていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃、消毒欠かしません その日の環境やお子さんに合わせた空間にしています 集中が妨げないように空間はシンプルにしています	部屋数が少ないので窮屈さを感じないようにしています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	お子さまの情緒の状態や集中力などに合わせ部屋の配置や環境を見直しています	部屋数が少ないため仕切りや目から入る情報が少なく集中できる環境に配慮しています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	目標設定をたてそこに向かい職員一同周知しています 実行して評価(会議)をし次へ向け改善点がある場合速やかに改善に向け目標、計画を立てます	課題を決め計画の対策から実行しその結果を評価し、次の改善策へ反映を行っています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に1回自己評価の協力をおねがいしています	保護者からの意見を進撃に受け止め反省や改善に活かしていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に1回自己評価の協力をおねがいしています	職員からの意見を進撃に受け止め反省や改善に活かしていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	現在第三者委員会は行っておりません	現在第三者委員会は行っておりません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	委員会での事業所研修をしています 市や県で開催される研修や講話にも時間が合う時参加しています	なるべく全職員が研修や講話など参加できるように時間や日にちに余裕を持てるよう日々の体制を今後工夫していきます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページでの掲載 契約時や見学時に支援プログラムについて説明をしています	ホームページへの掲載 契約時や見学希望の保護者へ説明をしています、わからないところは遠慮なくお問い合わせください
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	面談を行いお客様の現在の様子や保護者の要望、困りごとの把握。個別支援実施対応での様子と計画の照らし合わせを分析し、全職員が把握して計画を立てています	保護者だけではなく、関係機関(保育園・幼稚園・相談支援員)たからもお客様の様子を伺い共有した課題に取り組み支援計画を作成しています。まだまだ連携の取れない保育園などありますが今後事業所の思いを適切に理解してもらえようように努力していきます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	色々な職員の目線からお子さまを見守り全員で共通理解をしています	職員全員が一人だけの事ではなく全員のお子様の変化や成長を共通理解できるように些細な事でも話し合いの場を設けています。引き続き努力してまいります
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	モニタリング会議・担当者会議・個別支援計画作成会議をし 全員でお客様の様子を話し合いをしています	就学に向け特に年長時期の支援計画を強化し職員で共有し計画に沿って支援します
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日々お子様の変化や成長を観察しています	お子さまの目的・行動観察・聞き取り・環境分析を重視し 変化や成長を確認して職員全体で確認し合います
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	されています	家族支援では保護者と話し合う機会を設け困っていることが改善されるように支援します 移行支援では関係機関との日常連携に加え、行事の際には説明の方法や促し方等共有を図ります 地域支援では各関係機関で得られた情報を共有し、支援に活用するため具体策を提案します
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	話し合いを重ねその日の出来事や前日の療育内容など職員で共通理解しています	今後も継続話し合いや一人一人に合うプログラムを考え支援していきます

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	成長に合わせまた、得意、不得意を把握しています	お子さまの得意、不得意を把握し伸ばしていけるように色々な目線でまた、たくさん職員からの目線でプログラムが固定化しないようにしています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	専門的支援から個別の必要なお子さまを支援し、また、偏らないように集団活動へも積極的に参加させています	就学に向けてお子さま一人一人に必要な個別活動と選けずは通れない集団活動を丁度よく組み合わせ負担のない支援と計画を作成しています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日、朝、昼、夕と申し送りやその日の活動内容、お子様の些細な変化など必ず話合っています	前日からつづら合わせを必ずし、次の日の朝に再確認をして連携を取ります。午後は午前の様子を各職員から申し送りをしながら午後と次の日の療育内容に繋げチームで連携を取りながら支援をしています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	必ず振り返りを行っています	必ず些細な事でも話し合い支援内容が適していたか、改善する箇所はあるかを振り返り次の支援へ繋げお子様の状態も各職員が把握できるようにしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援内容やお子様の様子を記録するアプリを活用し毎日記録しています	その日の様子や環境の背景を観察しながらお子様に合った療育内容を考えて記録して毎日へと繋げています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	3ヶ月から6ヶ月をめどに支援計画内容を確認し会議を開き職員一人だけの方ではなく全員の意見を元に判断し見直しをしている	一人だけの意見や見方だけではなく職員一人一人の意見や支援内容を参考にし見直しを行っています
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者、児童発達管理責任者のほかお子さまの様子をよく知る保育主任やケース担当者も参加しています	児童発達管理責任者だけではなくお子様の様子や状況をいつも一緒に活動している職員も参加してより詳しくお子様の状況をお伝えできるようにしています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	関係機関との連携を取るようにしています	就学に向けて関係機関と連携をとりお子様によりよい学びの場を検討できるように体制を整えております。まだまだ全体的に理解が深まっていないこともあるのでこれから積極的に輪を広げたいと思います
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	個別支援計画を更新の都度お届けしています	就学に向けて保育園、幼稚園で受け入れてくださるところは個別支援計画をお渡しし、なるべく同じ保育や支援ができるように連携を取って行けるように努力しております
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	支援センターとは就学児前情報共有をしています	地域的に理解が無いように感じます。問い合わせをし申し送り等の提案をするのですが現在快く受け入れてくれるところは少ないためこれから療育や障害について理解をしていただけるようにしたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6	支援センターとの連携はありますが助言やアドバイスを受ける機会はありませんでした	就学に向け時期になると連携はありますがそのほかは双方連絡を取れることや助言やアドバイスを設ける機会があることを存じ上げませんでした。今後活用したいと思います
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	交流は難しいと感じています	まだまだ保育と療育がかけ離れている環境だと強く感じています 障がいがあってもなくても交流がスムーズに行われるようになってほしいと感じます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	どんな些細な事でも連絡帳や送迎時、携帯連絡アプリなどで必ずつづるようにしています。	職員が保護者からの連絡や相談は必ず会議で伝える職員が周知し誰でも対応できるように心がけています。また、事業所ないでの子どもの様子も些細な事でも保護者へ伝えるようにしています
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	ご家族さまの困りごとを面談や連絡帳など聞き取りその都度できる限りのことは対応しています	ペアレント・トレーニングや家族参加の研修は現在行っておりませんが、困りごとや相談事は速やかにお応えできる範囲でお答えする努力をしています
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時、面談時で説明しています	契約時や面談時に運営規程、支援についてをお伝えしていますが限られた時間の中ですでお伝えが不十分な箇所もあると思います。不明な点は遠慮なくお聞きください また、わかりやすくお伝えできるよう努めて参ります
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時に保護者から普段のお子様の様子やご家族の意向を必ず聞いています	ご家族やお子様の気持ちを第一に要望や希望を真摯に受け止め計画を作成します。また、こちらからもお子様の現在の様子をお伝え保護者からの理解を得られるようにしてまいります

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	同意を得ています	支援内容をなるべくわかりやすく伝えられるように付箋に内容を記載しています。 不明な点がございましたら遠慮なくご連絡ください
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	面談のほか連絡帳や携帯アプリで悩みや相談事があった場合速やかに答えるようにしています	自宅、幼稚園、保育園、事業所でのお子様の様子を照らし合わせたり環境の変化や行事などないか色々な視点からお子様の様子を観察し助言をし支援をしています
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	現在実施していません	保護者会の実施は現在しておりません
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	速やかに対応しています	職員一人が抱え込まないように全職員で周知して速やかに対応できるようにしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月1回お便りを発行しています また、ホームページにて療育内容を掲載しています	活動内容なお子様楽しんでる様子、行事内容等を発信しております
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵のかかる場所へ保管しています	個人情報について、契約時に説明をさせていただいております また、書類は充分に気を付けて鍵のかかる場所へ保管しています
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	わかりやくお伝えしています	文字に起こしたり、絵で説明など伝わりやすいようにと考えています ご要望がございましたら「このように伝えてください」とお伝えください。速やかに対応いたします
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	住宅街のため難しいと感じております	この街の特性にはこのように事業がかなう生活はあつたなく見守っていただけています。 住宅が多いため個人個人での交流は難しいと思いますが行事などで交流が持てるようにしていきたいと思ひます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年に4回避難訓練、その他の災害を想定し訓練しています	今後も避難訓練を定期的に行ひます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	備品の確認や避難に方法担当を定期的に確認しています	非常災害時に慌てないように大切なお子様をお守りします
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	事前に連絡をいただいで対応のしかたなど詳しくお聞きいたします。	安全を第一にお薬の服用や予防接種などの報告を受け対応 やお薬依頼書を記入していただき間違のないように気をつけています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者へ確認しています	事前にアレルギーのアンケートにお答えしていただき、対応やどんなアレルギーをお持ちか把握して細心の注意を払い職員全体で共通理解をしています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年に3回研修を行っています	各事業所で委員会を決め会議、研修を行っています
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	緊急連絡先や避難場所の確認の連絡を紙面にしお渡ししています	緊急連絡先と緊急避難場所、避難の基準やハザードマップを紙面でお渡ししています 緊急の場合速やかに電話をしています
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	会議で必ず話しています	どんな些細な事でも会議で話し保護者へも速やかに時系列を伝えていきます。 大きなけがなどの場合は必ず関係機関へ報告するようにしています
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修をし振り返り等行っています	研修をし振り返り虐待にあたるか否かを職員全体検討し、把握するようにしています 虐待はあってはならない事と職員全体で理解しお子様の対応をしています
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	支援計画へし同意をしています	他のお子様や職員への暴力などやむを得ない理由の場合は身体拘束をする場合があると事前に計画書へ記載し同意を得ています